

## XI 個数違いによるDiscrepancy Noticeの出力条件見直し

2014年12月11日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社





# 1. 現状の課題 ( 1 / 3 )

「HAWB情報登録(輸入)(HCH01)」業務 又は「混載貨物確認情報登録(HPK)」業務では全量到着済でないHAWB貨物が存在する場合、不突合情報を出力する。  
 現行NACCS更改前は、到着便単位にHCH01業務、HPK業務が実施されていたため到着便単位に全量到着か否かを判定し不突合情報が出力されていた。

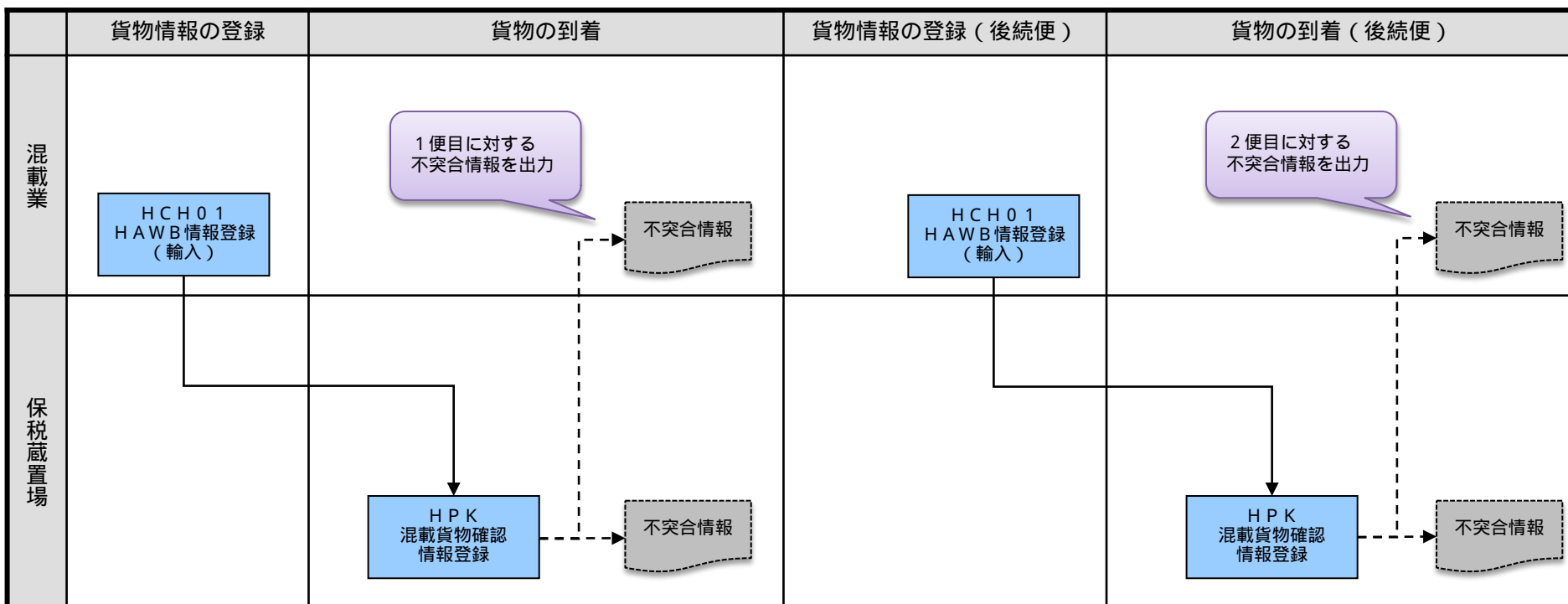
## 5次更改前



### 1便目の到着



### 2便目の到着



# 1. 現状の課題 ( 2 / 3 )

現行NACCS更改時に、HCH01業務は到着予定便に対して1回、HPK業務については実到着便単位に実施となったため、便単位での全量到着済か否かの判断が出来なくなり、HPK業務で入力されたMAWB配下の全量未着のHAWBが全て不突合情報に出力される動作となっている。

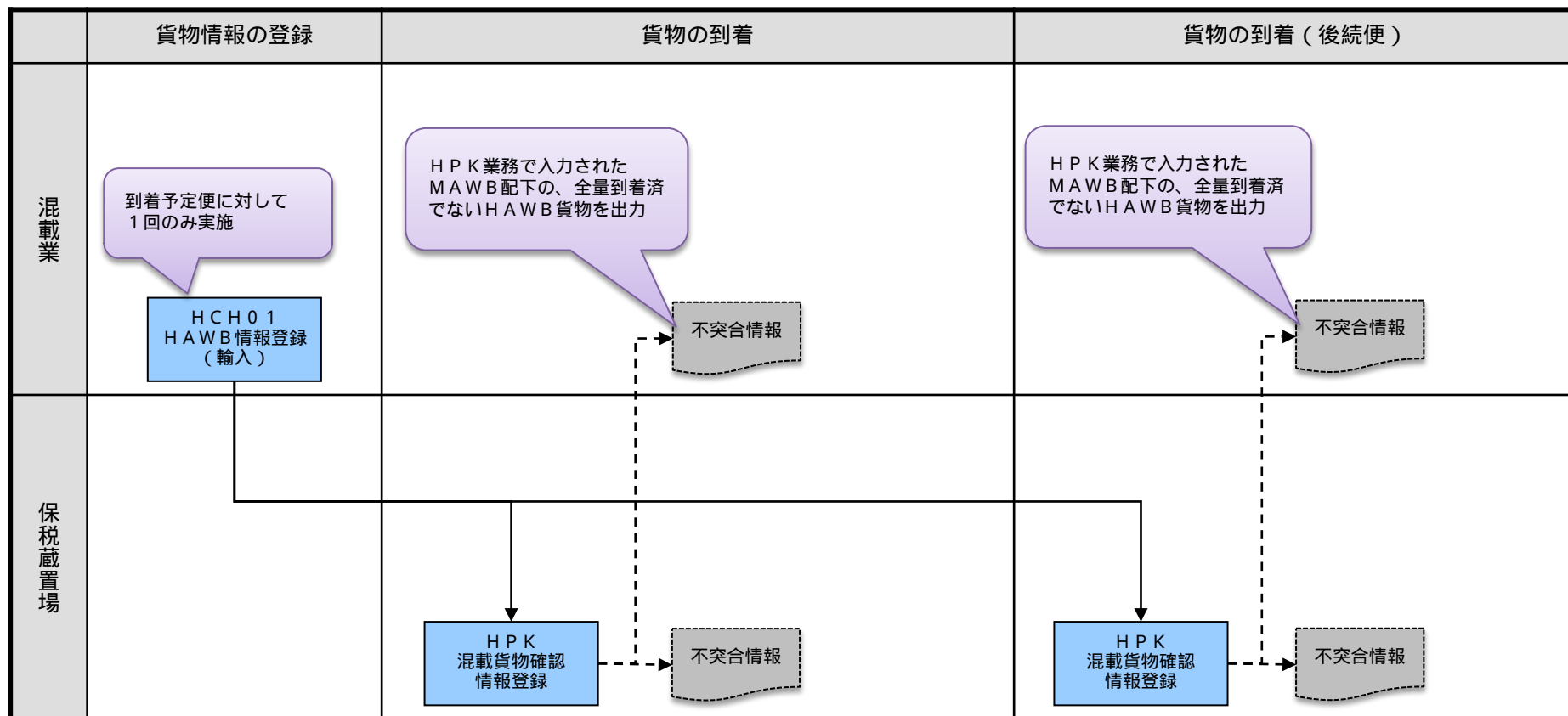
## 5次更改後



### 1便目の到着



### 2便目の到着



# 1. 現状の課題 (3 / 3)

例として、HCH01業務でMAB001（スプリットする貨物）に対し、HAB001～003が登録された場合で、1便目ではHAB001の一部（スプリット）、HAB002の全量が到着した場合に、不突合情報ではスプリット貨物となるHAB001、到着していないHAB003も出力対象となっている。



**1便目の到着**



**2便目の到着**

	貨物情報の登録	貨物の到着	貨物の到着（後続便）																																				
混載業	<p><b>HCH</b></p> <table border="1"> <tr> <td>便名</td> <td>NA000<u>1</u></td> <td>10OCT</td> </tr> <tr> <td>MAWB</td> <td>MAB</td> <td>001</td> </tr> <tr> <td>HAWB番号</td> <td></td> <td>総個数</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>001</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>002</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>003</td> <td>100</td> </tr> </table>	便名	NA000 <u>1</u>	10OCT	MAWB	MAB	001	HAWB番号		総個数	HAB	001	100	HAB	002	100	HAB	003	100	<p>HAB001,002,003 共に、後続便が存在するか不明であるため、 <b>スプリットするHAB001</b> <b>到着していないHAB003</b> <b>も出力される</b> <b>（改善したい点）</b></p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>HAB001</b> <b>HAB002</b> <b>HAB003</b></p> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>HAB002</p> </div> <p>HAB001（残分） HAB003（全量） が到着したため、 不突合貨物のみが出力 （問題ない挙動）</p>																		
便名	NA000 <u>1</u>	10OCT																																					
MAWB	MAB	001																																					
HAWB番号		総個数																																					
HAB	001	100																																					
HAB	002	100																																					
HAB	003	100																																					
保税蔵置場	<p>MAB001が スプリットで到着 HAB001（一部） HAB002（全量） が到着したとする</p>	<p><b>HPK</b></p> <table border="1"> <tr> <td>便名</td> <td>NA000<u>2</u></td> <td>10OCT</td> </tr> <tr> <td>MAWB</td> <td>MAB</td> <td>001</td> </tr> <tr> <td>HAWB番号</td> <td></td> <td>到着個数</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>001</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>002</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>HAB001</b> <b>HAB002</b> <b>HAB003</b></p> </div>	便名	NA000 <u>2</u>	10OCT	MAWB	MAB	001	HAWB番号		到着個数	HAB	001	40	HAB	002	99				<p><b>HPK</b></p> <table border="1"> <tr> <td>便名</td> <td>NA000<u>3</u></td> <td>10OCT</td> </tr> <tr> <td>MAWB</td> <td>MAB</td> <td>001</td> </tr> <tr> <td>HAWB番号</td> <td></td> <td>到着個数</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>001</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>HAB</td> <td>003</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>HAB002</p> </div>	便名	NA000 <u>3</u>	10OCT	MAWB	MAB	001	HAWB番号		到着個数	HAB	001	60	HAB	003	100			
便名	NA000 <u>2</u>	10OCT																																					
MAWB	MAB	001																																					
HAWB番号		到着個数																																					
HAB	001	40																																					
HAB	002	99																																					
便名	NA000 <u>3</u>	10OCT																																					
MAWB	MAB	001																																					
HAWB番号		到着個数																																					
HAB	001	60																																					
HAB	003	100																																					

## 2. 対応案(1)

HPK業務の共通部に「不突合情報出力表示(「 」スペース」または「Y」の入力を想定)」を追加する。  
 「 (スペース)」の場合はMAWBがスプリットフルである場合に限り全量到着済ではないHAWB貨物を不突合情報に出力する。  
 「Y」が入力された場合はMAWBの状態に関わらず現状通り不突合情報を出力する。  
 なお、不突合情報に「Y」が入力可能となるタイミングは、HPK業務で「END」入力するタイミングを想定する。

### 1 便目の到着

### 2 便目の到着

	貨物情報の登録	貨物の到着	貨物の到着(後続便)																		
混載業	<p><b>HCH</b></p> <p>便名 NA0001 10OCT</p> <p>MAWB MAB 001</p> <p>HAWB番号 総個数</p> <table border="1"> <tr><td>HAB</td><td>001</td><td>100</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>002</td><td>100</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>003</td><td>100</td></tr> </table>	HAB	001	100	HAB	002	100	HAB	003	100	<p>不突合情報出力表示に「Y」が入力された場合のみ、不突合情報を出力</p>	<p>HAB002</p> <p>不突合情報出力表示が「 」であるが、MAWBがスプリットフル状態であるため、不突合情報を出力</p>									
HAB	001	100																			
HAB	002	100																			
HAB	003	100																			
保税蔵置場	<p>MAB001がスプリットで到着 HAB001(一部) HAB002(全量)が到着したとする</p>	<p><b>HPK</b></p> <p>便名 NA0002 10OCT</p> <p>MAWB MAB 001</p> <p>HAWB番号 到着個数</p> <table border="1"> <tr><td>HAB</td><td>001</td><td>40</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>002</td><td>99</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	HAB	001	40	HAB	002	99				<p><b>HPK</b></p> <p>便名 NA0003 10OCT</p> <p>MAWB MAB 001</p> <p>HAWB番号 到着個数</p> <table border="1"> <tr><td>HAB</td><td>001</td><td>60</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>003</td><td>100</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>HAB002</p>	HAB	001	60	HAB	003	100			
HAB	001	40																			
HAB	002	99																			
HAB	001	60																			
HAB	003	100																			

## 2. 対応案(2)

HPK業務の欄部に「全量到着表示(「 (スペース)」または「E」の入力を想定)」を追加する。(新規項目)  
 「 (スペース)」の場合は、HAWBはスプリット貨物と判断し、不突合情報の出力対象外とする。  
 「E」が入力されたHAWBは、全量到着済であるはずの情報と判断し、不突合情報の出力対象とする。  
 なお、「E」が明示的に入力不可となる先行便で到着しないHAWBについては、「 (スペース)」と同様の挙動となる。

### 1 便目の到着

### 2 便目の到着

	貨物情報の登録	貨物の到着	貨物の到着(後続便)																								
混載業	<p>HCH</p> <p>便名 NA0001 10OCT</p> <p>MAWB MAB 001</p> <p>HAWB番号 総個数</p> <table border="1"> <tr><td>HAB</td><td>001</td><td>100</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>002</td><td>100</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>003</td><td>100</td></tr> </table>	HAB	001	100	HAB	002	100	HAB	003	100	<p>HAB 002</p> <p>HAB 001は「 」が入力されたため対象外                      HAB 002は「E」が入力されたため出力対象                      HAB 003は明示的な入力はないが、「 」同等に対象外となる</p>	<p>HAB 002</p> <p>HAB 002について、訂正がされていない場合、2便目到着時でも出力される</p>															
HAB	001	100																									
HAB	002	100																									
HAB	003	100																									
保税蔵置場	<p>MAB 001がスプリットで到着                      HAB 001(一部)                      HAB 002(全量)が到着したとする</p>	<p>HPK</p> <p>便名 NA0002 10OCT</p> <p>MAWB MAB 001</p> <p>HAWB番号 到着個数</p> <table border="1"> <tr><td>HAB</td><td>001</td><td>40</td><td></td></tr> <tr><td>HAB</td><td>002</td><td>99</td><td>E</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>HAB 002</p>	HAB	001	40		HAB	002	99	E					<p>HPK</p> <p>便名 NA0003 10OCT</p> <p>MAWB MAB 001</p> <p>HAWB番号 到着個数</p> <table border="1"> <tr><td>HAB</td><td>001</td><td>60</td><td>E</td></tr> <tr><td>HAB</td><td>003</td><td>100</td><td>E</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>HAB 002</p>	HAB	001	60	E	HAB	003	100	E				
HAB	001	40																									
HAB	002	99	E																								
HAB	001	60	E																								
HAB	003	100	E																								

### 3 . 第 6 次 N A C C S における対応

#### 対応案 ( 1 ) ( M A W B の ス プ リ ッ ト フ ル の 状 態 を 判 断 ) に お け る 問 題 点

M A W B が ス プ リ ッ ト フ ル と な っ た 時 点 で 不 突 合 情 報 が 出 力 さ れ る た め 、 現 状 の 不 突 合 情 報 の 出 力 と 比 べ 出 力 タ イ ミ ン グ が 遅 くなる 。 ( 「 不 突 合 情 報 出 力 表 示 」 欄 が 「 ス ペ ー ス 」 だ っ た 場 合 )

A C H 業 務 の 先 行 到 着 便 の 到 着 時 に 総 個 数 の 登 録 が 実 施 さ れ ない 場 合 等 、 M A W B が ス プ リ ッ ト と し て 登 録 さ れ ない 場 合 は 、 先 行 便 に 対 す る H P K 業 務 時 も 現 状 通 り 不 突 合 情 報 が 出 力 さ れ る 。

H P K 業 務 実 施 後 に 訂 正 業 務 を 実 施 す る 事 に よ り M A W B 貨 物 が ス プ リ ッ ト フ ル と な る 場 合 、 不 突 合 情 報 の 出 力 契 機 が 無 く な り 、 不 突 合 情 報 が 出 力 さ れ ない 。

#### 対応案 ( 2 ) ( H A W B 単 位 に 全 量 到 着 し た か を 判 断 ) に お け る 問 題 点

保 税 蔵 置 場 は 、 H A W B 貨 物 が ス プ リ ッ ト す る か 否 か を 予 め 判 断 す る 必 要 が あ る 。

「 E 」 が 入 力 さ れ ない 場 合 、 不 突 合 情 報 の 出 力 契 機 が 無 く な り 、 出 力 さ れ ない H A W B 貨 物 が 発 生 す る 可 能 性 が あ る 。



#### 第 6 次 N A C C S における対応

上 記 案 に よ る 対 応 の 是 非 に 関 し て 、 改 め て 関 係 業 界 に ヒ ア リ ン グ を 実 施 し た 結 果 、 以 下 の 問 題 が 生 じ る た め 、 現 行 機 能 の 継 続 が 妥 当 と の 結 論 が 得 ら れ た 。

( 1 ) は 出 力 条 件 が ス プ リ ッ ト フ ル と な っ た 時 点 の た め 、 全 量 到 着 す る ま で 確 認 が で き ない 。

( 2 ) は H A W B 貨 物 が ス プ リ ッ ト す る か 否 か の 判 断 が 難 し い 。

し た が っ て 、 第 6 次 N A C C S に お い て 、 Discrepancy Notice の 出 力 条 件 の 見 直 し は 実 施 し ない こと と す る 。